

平成 29 年度第 2 回「四日市羽津医療センター地域協議会」

【日時】平成 29 年 11 月 30 日（木）18：30～19：30

【場所】四日市羽津医療センター4F 多目的ホール

【議題】1.現状報告
2.質疑応答
3.意見交換
4.連絡事項

【出席者】加藤尚久（四日市医師会会長）、豊島泰子（四日市看護医療大学地域看護学教授）、河合信哉（四日市市保健所長）、増田直人（四日市市北消防署署長）、徳山直子（三重県乳腺患者友の会）、水谷重信（四日市市自治会連合会会長・海蔵地区連合自治会会長）、佐藤敏明（羽津地区連合自治会会長）、田中久幸（富田地区連合自治会会長）、藤田信男（富洲原地区連合自治会会長）、以下 当院スタッフ 住田安弘（院長）、梅枝覚（副院長）、渥美伸一郎（副院長）、木村光政（副院長）、橋本裕次（事務部長）、鷺見みどり（看護部長）、松下容子（訪問看護ステーション看護師長）、位田由起子（地域連携室看護師長）、岩谷米幸（総務企画課長）、小林哲（医事課長）、位田浩（健康管理センター管理課長）、中川佳代（介護老人保健施設管理係長）、澤田晴美（地域連携室係長）、圓城健二（経営企画係長）、池田孝（総務係長）

【議事録概要】（平成 29 年度第 3 回四日市羽津医療センター地域医療支援委員会同時開催）

1. 現状報告

1) 病院概況報告について

- ・外来・入院患者数、麻酔別手術件数、科別手術件数
- ・紹介率・逆紹介率、科別紹介患者数
- ・病診検査の推移、検査別病診検査数、
- ・救急患者の推移、救急車受入状況
- ・結核患者の受入状況、地域連携室に寄せられる相談

2) 健康管理センターの現状報告について

- ・施設健診月別件数推移、臓器別ドックの実施件数、四日市市がん検診件数
- ・健診車配車台数、巡回健診月別件数推移
- ・保健指導月別件数推移

3) 老人保健施設利用状況について

- ・入所者・通所者平均前年比、退所先と入所者数
- ・在宅復帰率、ベッド回転率

4) 訪問看護の現状報告について

- ・平成 29 年度 医療保険・介護保険利用者数、延べ訪問件数
- ・新規依頼者の紹介元、月別新規依頼者数と看取り数
- ・要介護度割合、利用者の主治医割合

2. 質疑応答

【全身麻酔件数の減少について】

外部委員) 病院の概況報告の中で、全身麻酔の件数が大幅に減っているのですが、重症患者数が減ったということでしょうか。

内部委員) 7月に減ったのは、6月に麻酔科の医師が亡くなったのが一番の原因です。当院の予定手術は一応何とかクリアしましたが、緊急手術が出来なくなり減りました。

【医師数について】

外部委員) お話を伺っていると相対的に医師が不足気味というのが否めないと思いますが、1年を通じて医師の数が足りないのですか。

内部委員) やはり全国的に特に外科医は減っています。医師も高齢化してしまっていて、若い医師が入ってこないため、普通であれば引退する年齢になっても頑張っているという現実がある。日本中どこでもそんな感じになっている。

外部委員) 一般サラリーマンも定年を延長して、70歳ぐらいまでは働けと言われているので、我々からみるとすごく憂慮する状態ですね、お医者さん頼りにみんな生きているので。

内部委員) 外科学会でも危惧しているところです。

外部委員) 昔からよく聞くのは、産科が減ってなかなかお子さんを産むところがないと。

内部委員) 産科も外科も減っています。きつところは減っています。

外部委員) 科によって偏っているのですか。或いは全体的に医師のなり手がいないとか。

内部委員) 医師は増えているが、大都会に集まっている。

外部委員) なかなか地方にこないと。

内部委員) 残っているメンバーで頑張りますので応援よろしくお願いします。

外部委員) ありがとうございます。

委員長) 適切なお指摘ありがとうございました。

医師の偏在というのは一番大きな問題で、三重県はどちらかというと少ない方の地域となって、行政の方も、学生に奨学金を出したり、三重大学の県出身の学生卒を広げたりと、いろいろ努力をして、できるだけ三重大の卒業生が、三重県に残ってもらうに政策をして頂いているので、その効果が出るのはもうちょっと先になるかもしれません。病院の責任者の方は、人の配置が一番大変なお仕事ではないかと思います。

【健診結果の発送について】

委員長) 四日市羽津医療センターの健診結果は、他施設に比べて早く発送されている気がする。私共の外来患者さんで、四日市羽津医療センターで健診を受けた方が、3~4週間後に来院されると、結果が間に合っているため、指導がしやすく助かっている。

他の施設では1カ月超えることが結構あり、ひどい施設では2ヶ月近くかかることもある。

内部委員) ありがとうございます。今は2週間を目途にしているのですが、今後は10日で発送するという大きな目標を持って進めているのでよろしくお願いします。

【軽度認知障害検査について】

外部委員) 先程の説明の臓器別ドックで、軽度認知障害検査が追加になったというお話を伺ったが、具体的にはどういう検査をして軽度か重度と分るのか教えてほしい。

内部委員) この検査は、認知症の検査ではなくて、あくまでも軽度認知障害検査ということで、認知症の前状態のところその状態を見つけるという、10分位の問診型のテスト検査です。例えば、10個の単語を10回くらい言っていただいて、その後違うテストをして、再度その覚えた単語を言ってもらう。どういう順番で言うか、何個答えられるか、その中で評価される。重度、中度、軽度とかではなく、軽度認知障害の疑いが有るか無いかの検査です。この検査は、その時の薬の服用状態や、甲状腺機能低下症があっても、軽度認知障害の疑いが出る。例えば精神的(気分が落ち込んでいる)な時もあります。その時は、必ず専門的な先生のところに行ってください、再度確認をして頂くという形になります。

外部委員) ありがとうございます。この検査は、四日市羽津医療センターが初めてやられた、あるいは他でも同じようにやっているところがあるのでしょうか。

内部委員) 三重県では多分当院が初めてだと思います。

外部委員) ありがとうございます。頑張ってください。

【訪問看護の現状について】

委員長) ありがとうございます。訪問看護の現状について何かご意見ご質問等はございますか。認定の軽い方でも訪問に入らなくてはいけないということは、在宅での介護力が落ちていることの反映という理解でよろしいでしょうか。

内部委員) はい、あとは独居、両方が要介護者、要支援者、あるいは障害があるというケースが多いのが現状だと思います。

3. 意見交換

【相談室について】

外部委員) 日赤病院の場合は、入退院等の相談窓口の相談室が15部屋ぐらい設けてあり、1部屋ずつプライベートが守られていて非常にいい環境でしたが、四日市羽津医療センターはどのような形になっていますか。

【医師から患者及び家族に対しての手術等説明について】

外部委員) 本人や家族に手術等の説明をされる時に、CT等の画像診断の画面を見ながら、丁寧な説明をされていると思いますが、先生方にとっては当たり前の話であっても、説明を聞く患者側としては、画像だけでは体の中がどのようなになっているのかなかなか理解することが難しい。

1番よく分りやすいのが、子供の頃に学校の保健室にあったような立体の人体模型や、個々の3D臓器のようなものを利用して、手術の説明をしていただくと非常に分りやすいし安心する。各病院がどのような形で患者さんの納得がいくような説明をされているのかお聞きしたいと思います。

委員長) ありがとうございます。相談室の確保、病状の説明時の工夫についてよろしくお願ひします。

内部委員) 手術の説明は、最初は外来の診察室で、入院後は病棟の個室や相談室にて、看護師同席のもとパソコンを使って、CTやレントゲンの画像(胃カメラ、大腸カメラ等)を見てもらいながら、納得のいくまで説明をしております。説明の後は、医師に聞けなかったことや、聞き忘れたこと等を、看護師がフォローしています。手術後は、HCU病棟の説明室(個室)にて切除後の標本を見て頂いて説明をしています。主は画像になりますが、残るように説明時の内容をプリ

ントアウトしてお渡ししています。

委員長) ありがとうございます。立体画像での説明であれば分かりやすい、というお話であったと思いますが、なかなかそこまで平面を再構築して説明するのは難しいのではないかと思います。

内部委員) 相談は地域連携室に寄せられることが多く、内容によってはしかるべき部署、職種に投げさせて頂きます。相談室は個室が2ヶ所あります。相談員が3人しかいないので、重なるとお待たせすることもありましたので、極力可能な限り予約制にしています。今のところ2ヶ所の相談室で困ったり、お待たせすることはないと思っています。

外部委員) 今やられている相談での反応や、相談を受ける側として効果はどうか。

内部委員) 退院時や、退院後の外来受診時に感謝の言葉を聞かしてもらうこともあります。総合的にみると分かりませんが、今後可能であればアンケートや調査もしながらそういったことも考慮していきたいと思っています。

委員長) 良かった方はお礼を言いに来てくれますが、不快に思った方は二度と来ないというのが現実だと思っていますので、なかなか相談した結果を把握するのは意識しないと難しいと思います。

【相談室の混み具合について】

外部委員) 日赤はものすごく広いスペースに相談室が15部屋あり、ものすごく多くの方が順番待ちをしていましたが、四日市羽津医療センターの混み具合はどうか。

内部委員) 入院の方は担当制になっておりますので、当院はそんなに混み合うことはないです。

基本的には予約制で、時々重なることもありますが、その時は外来の空いている個室を借りて対応しています。

【患者の立場より健診、診察を受けた際の感想について】

外部委員) 私はこの病院で手術をしてもらいましたので、先ほどの話はよく分ります。肝臓や心臓を外したりできる人体の模型のようなもので説明されると分かりやすいと思います。そういう説明の仕方をされたら、四日市羽津医療センターが、他の病院よりも群を抜いて手術に挑む時に、分かりやすい病院だと評判がたつのだろうなとお話を伺いながら思いました。

今日意見を出してみようと思ったのは、私はしばらくの間、国民健康保険でしたので、近所のお医者さんで健診を受けていましたが、去年からまた社会保険になりましたので、四日市羽津医療センターで健診を受けてみよう、しばらくぶりなので変わっているだろうなと思って来てみたら、まずは検査着が変わっていました。検査着が着やすくなっていて、サイズも豊富でゆったりとしていて体の線もでないのがありがたかったです。

健診の確認電話をしてくれた事務員の感じがとても良くて、また次の時もこちらでお願いしようと思った次第です。感じたことを順次申し上げていきます。マンモグラフィ、CTを撮ってもらう時はどんなものかと気になっていましたが、四日市羽津医療センターはベテランの先生方が多いので、若い方がものすごくよく育っている気がする。技師の声掛け、心使いがとても良かったです。

【健診を受けた方からのご意見について】

- ・受付事務員の化粧が濃く香水のにおいがきつい
- ・出来れば女性の医師が女性の臓器をみてくださるとうれしい
- ・メタボ測定の方の感じが良かった
- ・先生の診察時も画像ではありましたが、すごく分かりやすく、考えていた質問も丁寧に答えていただきありがたかった

- ・「質問があればいつでも医師、看護師にお伝えください」という紙が壁に貼ってあり、ここは後からでも何でも聞いてもいいのだなという安心感がありました
- ・「かかりつけ医を持ちましょう」というポスターもとてもよい（他病院では見たことがない）
- ・携帯電話を使用できるエリアがあるのでありがたい
- ・携帯電話を使用できるエリア外で使用する方に、声をかける職員がいなかった
- ・健診後の駐車券処理時に、受付職員が全員後ろ向きで、お話し、相談、電話をされていて、待ち人に気付いた感はあるが対応してもらえなかった。その時に対応したベテラン職員が「お待たせしました」の一言もなく残念だった。最後に気持ち良く病院を去られるほうがいいと思いますので、何かいい声掛け一つがあれば例え待たされてもまた来ようという気持ちになります。この病院の人気が出るためなら何でも申し上げますので、またお話しさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

内部委員) どうもありがとうございます。お褒めの言葉も頂きましたし、こちらが再度チェックするところがあると思いました。受付事務員の化粧と香水については、新入職員に対して、入職時に身だしなみの説明はしているが、再度確認していきたいと思います。

駐車券のチェック時は、終わり良ければすべてよしのところ、お恥ずかしい話です。定期的に役職者が集まって話もしますし、朝礼でもみんなに伝えていきたいと思います。お褒めの言葉もたくさんいただきましたので、各部署に伝えながら、より皆さんが快適に健診を受けてもらえるように頑張っていきたいと思います。どうもありがとうございました。

委員長) ありがとうございました。たくさんのご意見ご要望をいただきまして、これを病院の運営の中で活かしていただけるのではないかと思います。みなさん活発なご意見ありがとうございました。予定時間を終了しましたのでこれから先は事務局にお返ししたいと思いますので、よろしくをお願いします。

4. 連絡事項

【次回日程について】

来年の4月～6月のどこかで調整をさせて頂きたいと思います。個別に事務局の方からご案内させていただきます。